

上武建設グループ杯野球大会

生駒ライオンズ頂点

あすか野、あと一本出ず

第7回上武建設グループ杯野球大会(生駒市スポーツ協会・同市軟式学童野球連盟主催)が23、24日に同市上町の北大和野球場で開かれた。小学6年生のレギュラー6チームと小学5年生以下のジュニア6チームが参加し、それぞれトーナメント方式で頂点を競った。

あすか野は2点を追う六回、この回先頭のレギュラー

犬石悠太郎が右越えラニングホームランを放ち1点差に詰め寄

写真をもっと
奈良新聞デジタル

レギュラーは、生駒クラブライオンズが接戦の末に昨年優勝チームのあすか野ファイターズを3-2で破り頂点に立った。ライオンズは二回にあすか野に先制を許すも、三回に三浦雄晴の適時打などで2点を挙げ逆転。四回にも送球ミスの隙に横山雅大が本塁を駆け抜け追加点を奪った。

あすか野は2点を追う六回、この回先頭のレギュラー
レギュラー
ライオンズ 4-0 鹿野台パン
ライオンズ B
ライオンズ 5-4 生駒ドラゴンズ
ライオンズ B
ライオンズ 7-0 生駒東少年
ライオンズ B
ライオンズ 20-0 野球クラブ
ライオンズ B
ライオンズ 3-2 あすか野
ライオンズ B
ライオンズ 5-2 生駒東少年
ライオンズ B
ライオンズ 15-0 鹿野台パン
ライオンズ B
ライオンズ 7-4 生駒クラブ
ライオンズ B
ライオンズ 8-0 あすか野
ライオンズ B
ライオンズ 3-1 生駒ドラゴンズ
ライオンズ B

今中信英が本塁に飛び込み1点を返したが、後続を断られた。上武建設・上武建設社長は「本当に良い試合が多く感動した。決勝戦は白熱したゲームで、見ていてたくさんパワーをもらった。われわれも皆さんに負わずに、少しでも地域に貢献できるよう頑張っていきたい」と選手たちの活躍をたたえた。開会式では、安井宏

一・生駒市軟式学童野球連盟理事長が「選手たちの姿を見て力強く感じた。この大会で友情や努力などさまざまなことを学んでほしい」、小柴雅史・生駒市長が「将来は日本、世界で活躍する選手が現れることに期待。これからも野球のある豊かな人生を歩んでほしい」とあいさつした。



レギュラーの部を制した生駒クラブライオンズ
24日、生駒市北大和野球場



ジュニアの部で優勝した生駒GKブロックースB＝同